

# 図 表 一 覧

- 図 0-1 「中廊下型」住宅様式・「居間中心型」住宅様式の成立と両様式の融合  
木村徳國 日本近代都市独立住宅様式の成立と展開に関する史的研究(1959)より作成
- 表 2-1 住生活関連記事の内容の分類
- 図 2-1 住生活関連記事に占める内容別頁数の割合
- 表 3-1 明治時代から昭和時代初期の住宅改善の動向
- 図 3-1 後閑菊野 常見育男 家政学成立史 光生館(1971)
- 図 3-2 大江スミ 大濱徹也 大江スミ先生 東京家政学院光塩会
- 図 3-3 大江スミ 普通の住宅の間取 と 農家及び町家の間取  
横山光子 復刻応用家事教科書上・下 第一書房(1982)
- 図 3-4 井上 秀 常見育男 家政学成立史 光生館(1971)
- 図 3-5 井上秀子 最新家事提要掲載の住宅平面図 井上秀子 最新家事提要 文光社(1928)
- 図 3-6 井上秀子 家庭管理法 掲載の住宅平面図 井上秀子 家庭管理法 誠文堂(1928)
- 図 4-1 大熊喜邦 平和博覧会に出品さるべき作品(1922)
- 図 4-2 同潤会 江古田分譲住宅 4号(1934)
- 図 4-3 『婦人之友』誌読者 住宅建築問答 小さな西洋館(1923)
- 図 4-4 設計者の種類別住宅規模の分布
- 図 4-5 経年別・設計者の種類別住宅規模
- 表 4-1 設計者の種類別方位記号の記入状況
- 図 4-6 年中四方に日光を受ける家(『婦人之友』誌1914.4.)
- 図 4-7 軸が傾斜している住宅の平面図例  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其九(1914)  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其十五(1914)  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其十六(1914)  
『婦人之友』誌読者 何んな住宅が欲しいか 暖かさうな小洋館(1921)  
『婦人之友』誌読者 趣味の家 落合村に建てられた野口幽香子女史の隠棲(1922)  
『婦人之友』誌読者 理想と實際の小住宅 小さな折衷式の家(1922)  
『婦人之友』誌読者 住宅建築問答 洋風住宅の私案(1923)  
『婦人之友』誌読者 南澤に建った小脇氏の家(1928)  
『婦人之友』誌読者 理想の我が家 經濟能率簡易(1933)  
『婦人之友』誌読者 理想の我が家 二十坪半の小住宅(1933)
- 図 4-8 簡易な住宅の平面図例  
設計者不詳 たった二室の西洋館 二室の家(1914)  
ヴォリス 文化的九尺二間(1922)  
『婦人之友』誌読者 理想と實際の小住宅 私の設計しつつある一間の家(1922)  
『婦人之友』誌読者 理想と實際の小住宅  
設計簡易生活から出發した一間の家(1922)  
『婦人之友』誌読者 理想の我が家最小限度十一坪半の家(1933)  
土浦亀城 夫婦共同設計の明るい無駄のない家(1932)



- 図 4-9 和洋折衷小住宅の設計を批判しての（読者案）と徳永庸の（修正案）  
『婦人之友』誌読者 和洋折衷小住宅の設計を批判して（読者案）（1926）  
徳永 庸 和洋折衷小住宅の設計を批判して（修正案）（1926）
- 図 4-10 主婦室をもつ住宅の平面図例  
『婦人之友』誌読者 子供本位に建てられた家（1912）  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其六（1914）  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其十（1914）  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其十三（1914）  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其十四（1914）  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其十七（1914）  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其十八（1914）  
『婦人之友』誌読者 何んな住宅が欲しいか 翻訳された家（1921）  
『婦人之友』誌読者 何んな住宅が欲しいか 家族本位の簡易住宅（1921）  
『婦人之友』誌読者 理想と實際の小住宅 狭い臺所と別荘案（1922）  
『婦人之友』誌読者 住宅建築問答 亜鉛葺屋根の住宅（1923）  
木檜 恕一 小住宅の間取と寢室の新しい設備（1924）  
設計者不詳 住宅新築の参考 内容を主とした西洋館（1919）  
設計者不詳 應接間はゴチック式食堂は純アメリカ式二階は  
オランダ式の家（1925）
- 図 4-11 子ども部屋に関する記述
- 図 4-12 台所の平面図例
- 図 4-13 台所と同室の食事室をもつ住宅の平面図の例  
簡易生活から割り出した住宅（三角錫子邸）（1916）  
設計者不詳 九百五十圓で出来た家（1928）
- 表 5-1 「食堂」・「食事室」と「茶の間」のオリエンテーションの経年変化  
（設計者の種類別）
- 図 5-1 北面「茶の間」をもつ住宅の平面図例  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其三（1914）  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其四（1914）  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其十二（1914）  
『婦人之友』誌読者 住宅建築問答 小住宅の建築費（1923）
- 図 5-2 縁側を多用して日照を得ようとした住宅の平面図例  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其十一（1914）
- 図 5-3 軸を45度振ることによって日照を得ようとした住宅の平面図例  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其十（1914）
- 図 5-4 二階建てにすることによって日照を得ようとした住宅の平面図例  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其十七（1914）
- 図 5-5 接客空間と並んで南面にとられた食事空間をもつ住宅平面図例  
『婦人之友』誌読者 理想と實際の小住宅 惣本家としての隠宅（1922）
- 表 5-2 接客空間のオリエンテーションの経年変化（設計者の種類別）
- 図 5-6 北面接客空間をもつ住宅平面図例  
『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其七（1914）



|           |             |                    |
|-----------|-------------|--------------------|
| 『婦人之友』誌読者 | 何んな住宅が欲しいか  | 翻訳された家(1921)       |
| 『婦人之友』誌読者 | 何んな住宅が欲しいか  | 家族本位の簡易住宅(1921)    |
| 『婦人之友』誌読者 | 何んな住宅が欲しいか二 | 私の望んで居る住宅(1921)    |
| 『婦人之友』誌読者 | 住宅建築問答      | 小住宅の建築費(1923)      |
| 『婦人之友』誌読者 | 住宅建築問答      | 家族本位の家(1923)       |
| 『婦人之友』誌読者 | 素人の工夫を生かした家 | 南澤に建った中村貢氏の家(1932) |

図 5-7 六角形の臺所

図 5-8 冷蔵庫

図 5-9 南面台所をもつ『婦人之友』誌読者が設計した住宅平面図例

『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其二(1914)

『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其六(1914)

『婦人之友』誌読者 何んな住宅が欲しいか 翻訳された家(1921)

『婦人之友』誌読者 何んな住宅が欲しいか 家族本位の簡易住宅(1921)

『婦人之友』誌読者 理想と實際の小住宅 私の頭に熟した理想の家(1922)

『婦人之友』誌読者 住宅建築問答 夏期だけの簡易な別荘(1923)

『婦人之友』誌読者 住宅建築問答 家族本位の家(1923)

表 6-1 通り抜ける部屋の有無と通り抜けを避けるための手だての状況の経年変化  
(設計者の種類別)

表 6-2 接客空間の有無と位置の経年変化 (設計者の種類別)

図 6-1 通り抜ける「居間」をもつ住宅の平面図例

遠藤 新 二十二坪の住居 (自邸) (1931)

図 6-2 専用の接客空間をもつ住宅平面図例

『婦人之友』誌読者 素人の工夫を生かした家(1932)

図 6-3 通り抜ける「洋室」ももつが家族用の玄関ももつ住宅平面図

『婦人之友』誌読者 住宅建築問答 郊外の田園住宅(1923)

図 6-4 玄関を接客の空間に活用した住宅の平面図

『婦人之友』誌読者 住みよき家の間取圖其十四(1914)

図 6-5 玄関と内玄関とを処理して客と家族の動線を分離している住宅の平面図

『婦人之友』誌読者 廿八坪の地面へ便利で器用な家(1917)

図 6-6 玄関を4室への分岐点としている住宅の平面図

『婦人之友』誌読者 何んな住宅が欲しいか 小ぢんまりと片づいた家(1921)

図 6-7 玄関の中央を下駄箱兼花台で仕切り家人用の出入り口をとっている住宅の平面図

『婦人之友』誌読者 住宅建築問答 家族本位の家(1923)

図 7-1 各室の機能と起居様式 (年別, 設計者の種類別)

図 7-2 遠藤 新 住宅小品15種 一文字の家 安成氏の家(1924)

図 7-3 遠藤 新 『新しい木綿の浴衣』の家 (羽仁家) (1929)

図 7-4 遠藤 新 三四千圓で出来る小住宅設計 黒崎貞彦氏の設計圖(1927)

図 7-5 遠藤 新 三四千圓で出来る小住宅設計 高橋 泰氏の住宅設計圖(1927)

図 7-6 大内章正 砧村に建てた私たちの家 (らいてう) (1927)

表 7-1 <和室住宅>, <混在住宅>, <洋室住宅>の経年変化 (設計者の種類別)

表 7-2 だんらん空間の和洋の経年変化 (設計者の種類別)

表 7-3 接客空間の和洋の経年変化 (設計者の種類別)

表 7-4 私室空間の和洋の経年変化 (設計者の種類別)



## 参 考 文 献 一 覧

辞典, 事典, 年表

- 1) 国史大辞典編集委員会, 国史大辞典, 吉川弘文堂(1987)
- 2) 三井禮子, 現代婦人運動史年表, 三一書房, (1963)
- 3) 高橋公子, 戦後史大事典, 三省堂, 東京, (1991)

近代住生活史に関する単行本

- 1) 西山卯三, 日本の住まいII, 勁草書房, (1976)
- 2) 内田青蔵, あめりか屋商品住宅, 住まいの図書館出版局(1987)
- 3) 内田青蔵, 日本の近代住宅, 鹿島出版, (1992),
- 4) 中島明子他, 目白文化村, 日本経済評論社, (1991)
- 5) 町田玲子, 近代のすまいにおける家事労働とその空間に関する歴史的変遷, (1986)
- 6) 西川祐子, 住まいの変遷と「家庭」の成立, 日本女性生活史 第4巻 近代, 東京大学出版会, (1990)
- 7) 永畑道子, 炎の女, 新評社, (1981)

近代住生活史に関する研究論文

- 1) 木村徳國, 日本近代都市独立住宅様式の成立と展開に関する史的研究, 北大工学部研究報告, **18**~**21**(1958~1959)
- 2) 河東義之, ステータスシンボルとしての洋館, 月刊文化財 1987年12月号, 29~39 (1987)
- 3) 中畠 邦, 大正期における「生活改善運動」, 史艸, **15**, 54~83(1974)
- 4) 町田玲子, 主婦の個室, 奈良女子大学住生活研究室編, 住生活と住教育, 彰国社, 25~43(1993)
- 5) 米村敦子, 明治後期から大正初期の住宅の採光について, 家政学研究, **29**, 121~128 (1983)
- 6) 内田青蔵, 近代の住宅をつくった建築家たち 住宅専門会社「あめりか屋」創立者橋口信助と技師長山本拙郎, 新住宅, **515**, 112~114(1989)
- 7) 藤谷陽悦, 近代の住宅をつくった建築家たち 我が国の公営住宅の先駆「同潤会」, 新住宅, **520**, 112~114(1990)
- 8) 崔康勲, 近代の住宅をつくった建築家たち 遠藤 新, 新住宅, **516**, 112~114(1989)
- 9) 内田青蔵, 大正・昭和初期の生活改善運動に関する一考察, 生活文化史, **18**, 20~32 (1990)
- 10) 内田青蔵, 大正期の生活改善の動向, 住宅会議, **25**, 21~24(1990)

『婦人之友』誌, 羽仁もと子に関する単行本

- 1) 婦人之友社, 創立者の歩んだ道 婦人之友小史, (1968)
- 2) 近代女性史研究会, 女たちの近代, 柏書房(1978)
- 3) 斉藤道子, 羽仁もと子ー生涯と思想, ドメス出版, (1988)
- 4) 山室徳子, 20世紀初頭女性へのメッセージ, ドメス出版, (1991)
- 5) 私たちの歴史を綴る会, 婦人雑誌からみた1930年代, 同時代社, (1987)

『婦人之友』誌に関する研究論文

- 1) 小川正光他, 婦人雑誌にみられる住生活の変遷, 愛知教育大学家政学教室研究紀要, **19**, 104~120(1988)



- 2) 神間稔子・小川正光, 「婦人之友」の家計記事による読者層の属性に関する検討, 愛知教育大学家政学教室研究紀要, **20**, 53～61(1989)
- 3) 小川正光, 戦前『婦人之友』にみられる居住者層と住宅規模の変遷, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 5036－5037(1989)
- 4) 小川正光他, 『婦人之友』, 『主婦の友』にみられる中流層の生活基盤の検討, 愛知教育大学家政学教室研究紀要, 第23号, (1992)

#### 当時の単行本

- 1) 建築普及会, 文化村住宅設計圖説, 鈴木書店(東京), (1922)
- 2) 土屋元作, 家屋改良談, 時事新報社, (1889)

#### 当時の論文

- 1) 岡本蓋太郎, 和洋折衷住家の地繪圖に就て, 建築雑誌, **142**, 306～310(1898)
- 2) 北田九一, 和洋折衷住家, 建築雑誌, **144**, 376～380(1898)
- 3) 塚本 靖, 住家の話, 建築雑誌, **199**, 290～303(1903)
- 4) 滋賀重列, 住家(改良の方針に就て), 建築雑誌, **194**, 36～39(1903)
- 5) 滋賀重列, 住家(改良の方針に就て), 建築雑誌, **196**, 122～126(1903)
- 6) 滋賀重列, 住家(改良の方針に就て), 建築雑誌, **199**, 287～291(1903)
- 7) 滋賀重列, 住家(改良の方針に就て), 建築雑誌, **201**, 400～403(1903)
- 8) 滋賀重列, 住家(改良の方針に就て), 建築雑誌, **202**, 441～445(1903)
- 9) 矢橋賢吉, 本邦に於ける家屋改良談, 建築雑誌, **203**, 496～521(1903)
- 10) 田邊淳吉, 西濠洲の住家, 建築雑誌, **253**, 23～33(1908)
- 11) 後閑菊野, 理想的住宅の構造, 建築世界 大正4年9月号, 11～14(1915)
- 12) 生活改善同盟會に於ける住宅改善の方針, 建築雑誌, **404**, 393～395(1920)
- 13) 住宅の間取及設備の改善, 建築雑誌, **419**, 506～519(1921)

#### 高等女学校で使われた家庭科の教科書に関する単行本

- 1) 東京家政学院光塩会編・大濱徹也, 大江スミ先生, 東京家政学院光塩会, (1978)
- 2) 常見育男, 家政学成立史, 光生館, (1971)
- 3) 常見育男, 家庭科教育史増補版, 光生館, (1980)
- 4) 横山光子, 復刻応用家事教科書上・下解説, 第一書房, (1982)
- 5) 横山光子, 復刻実践家政学講義解説, 第一書房, (1982)
- 6) 大森和子, 復刻家事教科書上下解説, 第一書房, (1982)

#### 高等女学校で使われた家庭科の教科書

- 1) 山方香峰, 日常生活衣食住, 実業之日本社, (1907)
- 2) 大日本家政学会, 家政要鑑 下巻, (1907)
- 3) 野口保興, 家事の新研究, 目黒書店・成美堂, (1916)
- 4) 家事教授研究会, 小学校女学校家事家政教材集, 隆文館, (1917)
- 5) 國澤きよ子, 家庭に於ける燃料の節約, 大倉書店, (1920)
- 6) 井上秀子, 家庭管理論, 誠文堂, (1928)
- 7) 井上秀子, 最新家事提要 改訂版, 文光社, (1928)
- 8) 大江スミ子, 家事实習案内, 文光社, (1928)
- 9) 石澤吉麿, 高等教育家事原論, 東洋図書, (1931)
- 10) 家事教授研究会, 最新家政学講義, 文光社, (1934)



# 業 績 一 覧

| 著書, 学術論文等の名称                    | 発行所, 発表雑誌等の名称     | 発行, 発表年月 |    |
|---------------------------------|-------------------|----------|----|
| 資料 住居学                          | 建帛社               | 昭和50年4月  | 共著 |
| 働き続ける女性たちーその現状と課題ー              | 法規文化出版社           | 昭和52年10月 | 共著 |
| 家事・育児を分担する男たち                   | 現代書館              | 昭和57年10月 | 共著 |
| 歴史をひらく愛と結婚                      | ドメス出版             | 平成3年12月  | 共著 |
| 家庭生活領域の研究と実践                    | 家政教育社             | 平成5年4月   | 共著 |
| 住生活と住教育                         | 彰国社               | 平成5年5月   | 共著 |
| 家庭科教材研究の発展                      | 教育図書              | 平成6年4月   | 共著 |
| 住生活論                            | 化学同人              | 平成7年1月   | 共著 |
| 女子短期大学における住居学教育について             | 名古屋女子大学紀要<br>第17号 | 昭和46年3月  | 単著 |
| 居住地階層と住環境観 I 居住者構成              | 家政学研究<br>第18巻 第1号 | 昭和46年6月  | 共著 |
| 居住地階層と住環境観 II 住環境観              | 家政学研究<br>第18巻 第1号 | 昭和46年6月  | 共著 |
| 名古屋市における住宅需要に関する研究              | 名古屋女子大学紀要<br>第18号 | 昭和47年3月  | 単著 |
| 生活環境施設の管理・運営と居住者のとりくみについて       | 家政学研究<br>第23巻 第2号 | 昭和52年3月  | 共著 |
| 農村住宅の住まい方に関する研究<br>農作業空間の転用のしかた | 家政学研究<br>第25巻 第1号 | 昭和53年6月  | 共著 |
| だんらん室の使い方ー福岡市近郊建売住宅についてー        | 家政学雑誌<br>第32巻 第9号 | 昭和56年10月 | 単著 |
| 和室の住まい方ー福岡市内マンション居住についてー        | 福岡教育大学紀要<br>第31号  | 昭和57年2月  | 共著 |



|  |                                    |         |    |
|--|------------------------------------|---------|----|
| 1921年から1934年の『婦人之友』誌掲載住宅プラン  | 家政学研究<br>第28巻 第2号                  | 昭和57年3月 | 共著 |
| 旧赤間宿におけるマチヤの住まい方 第1報<br>平面プランの型                                    | 福岡教育大学紀要<br>第32号                   | 昭和58年2月 | 共著 |
| 旧赤間宿におけるマチヤの住まい方 第2報<br>動線分析からみた土間の役割                              | 福岡教育大学紀要<br>第32号                   | 昭和58年2月 | 共著 |
| 主婦層・女子短大生向けの住教育について  | 家政学研究<br>第32巻 第2号                  | 昭和61年3月 | 単著 |
| 女子短大生のだんらん室・食事室観<br>—だんらん室の使い方—                                    | 家政学研究<br>第33巻 第2号                  | 昭和62年3月 | 単著 |
| 小中高校家庭科における住居領域教材に関する基礎的研究<br>—だんらん室の使い方と子どもの自立—                   | 大分大学教育学部研究紀要<br>第13巻 第2号           | 平成3年10月 | 単著 |
| 男女共学家庭科における住居領域教材の基礎的研究<br>—企業やマスコミが高校生におよぼす影響—                    | 大分大学教育学部研究紀要<br>第13巻 第2号           | 平成3年10月 | 単著 |
| 日田市近郊農家のだんらん室の使い方  | 大分大学教育学部<br>「日田・玖珠地域—<br>自然・社会・教育」 | 平成4年7月  | 単著 |
| 大正デモクラシー期の『婦人之友』誌にみる住生活改善(第1報)<br>『婦人之友』誌の特徴と住生活関連記事の経年的動向         | 日本家政学会誌<br>第43巻 第12号               | 平成4年12月 | 単著 |
| 大正デモクラシー期の『婦人之友』誌にみる住生活改善(第2報)<br>家族本位志向とオリエンテーション                 | 日本家政学会誌<br>第44巻 第4号                | 平成5年4月  | 単著 |
| 大分県の中学校における住生活教育の実態と<br>これからの課題                                    | 大分大学教育学部研究紀要<br>第15巻 第2号           | 平成5年10月 | 単著 |
| 男女共学の家庭科の授業にみる学習効果<br>—大分県・中学生の場合—(第一報)家庭生活観・家庭科観                  | 日本家庭科教育学会誌<br>第36巻 3号              | 平成5年12月 | 単著 |
| 男女共学の家庭科の授業にみる学習効果<br>—大分県・中学生の場合—(第二報)<br>食生活・衣生活に関する知識・技能の定着について | 日本家庭科教育学会誌<br>第36巻 3号              | 平成5年12月 | 単著 |
| 大正デモクラシー期の『婦人之友』誌にみる住生活改善<br>家族の日常生活空間と接客空間の分離について                 | 日本建築学会計画系論文集<br>第461号              | 平成6年7月  | 単著 |
| 1947年から1957年の中学校家庭科の教科書にみる家庭生活<br>(第1報) 家族関係・家庭生活像・女性の生き方          | 日本家庭科教育学会誌<br>第37巻 2号              | 平成6年8月  | 単著 |
| 「黄色いめがね」を用いた「住まいの安全」の授業  | 日本家庭科教育学会誌<br>第37巻 2号              | 平成6年8月  | 単著 |



## 謝

## 辞

私には在野での研究活動期がある。その間も資料集めをしてきた『婦人之友』誌の研究をまとめることができて感慨はひとしおである。

この論文をまとめるにあたって、終始あたたかいご指導をくださり、やさしく励ましつづけてくださった西村一郎・奈良女子大学教授に、心から感謝の気持ちをあらわしたい。西村先生の的確なご指導とお励ましがなかったら、論文をまとめることができなかったろう。また、行き届いたご指導をくださった湯川利和・奈良女子大学教授、上野邦一・奈良女子大学教授、ご専門の歴史学ご研究の立場からご指導をくださった村田修三・奈良女子大学教授、小路田泰直・奈良女子大学助教授にお礼を申し上げたい。

奈良女子大学在学中から、生活を視ることのおもしろさと、木に竹を接いだようなものではない、真の和洋折衷の歴史的意義を教えてくださいました指導教官 扇田 信・奈良女子大学名誉教授にお礼の言葉を述べたい。扇田先生はいつもあたたかく励ましてくださり、この論文をまとめるにあたっても特別のご指導をいただいた。

また、在学中に柳田國男の「郷土生活の研究」などの輪読をとおして庶民の情動（エモーション）が生活を発展させる大きなエネルギーであることを教えてくださいました指導教官 足達富士夫・北海道大学教授にお礼の気持ちをあらわしたい。

奈良女子大学に在学していたころ、奈良国立文化財研究所に勤務され、奈良県今井町の調査で実地のご指導いただいて以来、親身なご指導をいただいている宮沢智士・上越造形大学教授、学生時代から多くのご教示をうけている住田昌二・大阪市立大学教授、玉置伸悟・福井大学教授、梶浦恒男・大阪市立大学教授、佐藤圭二・中部大学教授にお礼を申し上げます。

町田玲子・京都府立大学助教授、西島芳子・高知大学教授、関川千尋・京都教育大学教授、山崎古都子・滋賀大学教授、上野勝代・京都府立大学教授、吉原崇恵・静岡大学教授の友情は私の宝物である。

『婦人之友』誌研究にあたっては、内田青蔵・東京工業大学工学部附属工業高等学校教諭、小川正光・愛知教育大学教授に示唆に富む貴重なご助言をいただいた。

野にある期間中も研究をつづけることができたのは秋山晴子・福岡教育大学教授の激励によるところが大きい。資料収集にあたってはとくにお世話になった。

故高木葉子・元福岡教育大学教授、井上洋子・精華女子短期大学教授をはじめ、福岡女性学研究会のメンバーの存在も大きい。いつも前向きで本音で議論のできる仲間の存在は大きな財産である。

福岡市在住・石賀信子氏に、氏所蔵の1920年からの『婦人之友』誌を閲覧させていただいたことがこの研究の礎になった。本田正代氏にも資料収集のご協力をいただいた。

藤井弘也・大分大学講師、中島弘二・大分大学講師に資料整理のお世話になった。

資料の収集にあたり、宮野暢子・大分大学附属図書館情報サービス係長に格別のお世話になった。青柳良輔・九州大学経済学部図書掛長にもご高配をいただいた。

大分大学教育学部の教職員の方にお世話になった。

私事ではあるが、福岡と大分との“両住まい”の生活を支え、私を励ましつづけてくれた夫と子どもたちに感謝したい。

1995年1月

久保加津代